

# 山麓探偵団通信

4月号

季節はずれの重い大雪や、季節特有の突風、強風で、樹木の枝がかなり折れました。中には、枝だけではなく、根元から折れた幹もあり、春に似合わぬ無残な姿をさらしています。長く厳しい冬を越えた末での、思いがけない不運に、自然界の甘くない現実を、見せられたかのようでした。

三月の探偵団は、天候に恵まれず、残念ながら催行できませんでした。

そんなわけで、三月の感想文は掲載なしですが、昨夏七月の昆虫シリーズに参加された当時小学校四年生の島田樹(しまだ・たつき)くんの昆虫レポートから、当日の感想文を、原文のまま、ここに掲載させていただきます。

## 〈山中湖の昆虫〉

ぼくは今年の夏、おじいちゃんとおばあちゃんがいる山中湖に行きました。山中湖には、喜多見(注：樹くんのふだん住んでいる所)とちがって、たくさん虫がいました。おじいちゃんはお虫にくわしいので、いろいろ教えてもらうことにしました。

ちょうど、山中湖の自然かんさつをしている「さんろくたんてい団」が、昆虫についてのツアーをするというので、ぼくもおじいちゃんとおばあちゃんまで、参加しました。こどもはぼく一人で、たくさん歩いてたいへんでした。でも、たくさんのお虫を見つけたことができました。



クワガタやトンボの標本

蝶類の標本

大きなあみは、はじめてで、しょは全くつかまえられなかったけど、コツを教わっただけで、つかまえられるようになり、うれしかったです。

午後の勉強会では、セミについて教わり、エゾゼミとコエゾゼミの鳴き方のちがいなどがわかり、

おもしろかったです。

山中湖の家では、夜ペランダに電氣をつけていると、いろいろな虫があつります。カブトムシ、クワガタ、カナブン、ガなど、かんだんにつかまえられました。

昼間、はれているときには、近くのリョウブという白い花がさく木に、いろいろなチョウがくるので、まちぶせをしてみたいです。そして、ひょう本をつくることにしました。

今まで、昆虫は一万種くらいだと思っていました。が、ずかんでしらべてみて、九十五万種もあつて、びっくりしました。にている名前もたくさんあつて、ずかんで名前をさがすのは、むずかしかったです。地球おんだんかや、ペットの虫をにがす人がいて、南国の虫がかんとうでも発見されているようです。こんごも、虫研究をつづきたいです。

## おわり



この感想文の前には、昆虫採集にさいしての持ち物、リュックの巾着、服装、注意点など、細部にわたる記述と、手づくりの箱に収められた昆虫標本(上段写真)が添えてあり、わずか十歳の男子の昆虫たちとの距離に、彼の六倍以上の年月を生きてきた、自分たちおじいさんおばあさんは、置いてけ

ぼりをくった感じでした。「もう、追いつけない」と、笑顔で降参するのは、中高年の特権だと言いつたりして、昆虫レポートに、ほどよい刺激を受けています。「N」



## ◇四月の探偵団活動のご案内

### へ里の春を歩く

桜や梅の開花が例年より遅いといわれていましたが、やっと山麓にも春の足音が聞こえてきました。四月の探偵団は、映像カメラマンの伊藤浩美氏に団長をお願いし、富士山南麓の里を案内させていただきます。

- ・月 日 四月十九日(木)
- ・集 合 午前十時に道の駅すばしり

- ・参加費 2300円
- ・参加費 2300円

- ・持ち物 昼食・敷物・雨具・マイカップ・任意でポケット図鑑、双眼鏡など

- 五月は、十九日(土)に伊藤浩美団長で活動予定しています。
- 戸高雅史さんとの野営一泊の活動予定日は、六月三十(土)七月一日(日)です。

発行 山麓探偵団 事務局  
 山梨県山中湖村平野一六九八  
 電話 〇五五五・六五・七〇二三